沖縄サミットに向けて！

今年七月に開催される九州・沖縄サミットまであと二月と迫りました。

沖縄総合事務局では、九州・沖縄サミットの開催地決定を受け、平成十一年五月十一日に設置された「沖縄総合事務局二〇〇〇年サミット対策本部」のもと、さまざまな事業に積極的に取り組んでいますが、その概要を紹介します。

●サミット支援施設として、沖縄総合事務局の研修所を利用します。

●国道五八号側職場周辺等の花壇の設置及び植栽等緑化、美化活動を推進しています。

●主要道路の整備

サミット参加首脳等の移動手段として、道路は極めて重要な役割を担っています。

とりわけ、那覇空港、サミット会場及び宿泊施設間の移動は、沖縄自動車道と国道五八号を主に利用することから、これらの道路を安全かつ有効に活用するための事業を実施しました。

また、地元の道路管理者間の連携を図るため、昨年六月に「二〇〇〇年サミット道路連絡協議会」を組織し、連絡調整に努めています。

（主な事業内容）

一 那覇東バイパス（国道三二九号）の整備

●一部区間を暫定四車線化し、全線四車線供用

二 宜野湾バイパス（国道五八号）の整備

●一部区間を暫定供用し、全線開通

三 南風原道路（国道五〇六号）の整備

●西原JCT～南風原北IC、南風原北IC～南風原南ICの供用

四 サミット会場入り口の整備

●交差点改良、植栽・照明灯等の整備、電線類の地中化等

五 交通安全施設整備

●道路照明灯、防護柵、視線誘導標、区画線の設置

六 情報提供装置の充実

●国道五八号、三三一号での主要施設の案内標識及び道路情報板の整備

●VICSの整備

七 景観の向上

●国道五八号、三三一号での道路植栽の整備

八 舗装補修

●国道五八号の宿泊施設及びサミット会場、プレスセンター間全線の排水性舗装等

九 構造物補修

●プレスセンター付近の歩道橋補修

●国営沖縄記念公園の整備

社交夕食会会場となる首里城地区は、会場準備の他周辺園地の整備を進めています。また、海洋博覧会地区においても沖縄の自然や歴史・文化を実感できる代表的な施設として園地整備を進めています。

●報道関係者の取材活動の拠点となる仮設プレスセンター等を整備しています。

●交通総量の抑制

九州・沖縄サミット期間中の首脳の移動等に伴う交通規制対策を協議するため、沖縄県警察本部に「沖縄サミット交通総量抑制連絡協議会」が設置され、沖縄総合事務局もその構成メンバーとして、以下の対策を実施することにより、サミット期間中の交通混雑緩和に協力していきます。

一 官用自動車利用の自粛と運行調整

二 職員及びその家族に対する自動車利用の自粛の呼びかけ

三 自動車交通の発生を伴う諸行事の抑制

四 所管する関係機関・団体に対する交通総量削減等の協力要請

五 広報誌（群星）への交通総量抑制関連記事の掲載